

2027年3月博士前期課程修了者の学位審査スケジュール

日程		日程	予定
3月	上旬		
	中旬		
	下旬		
4月	上旬		「研究指導」、「多文化社会学セミナー」等の履修登録
	中旬		
	下旬		
5月	上旬		「多文化社会学セミナーⅡ (2年次生前期)」の履修
	中旬		
	下旬		
6月	上旬		
	中旬		
	下旬		
7月	上旬		
	中旬		
	下旬		
8月	上旬		
	中旬		
	下旬		
9月	上旬		
	中旬		
	下旬	9月30日(火)17時まで	大学院生 ← ①事前相談 ②確認・了承 ③「学位論文題目届」の提出 → 指導教員 → 研究科長(大学院係)
10月	上旬		
	中旬		
	下旬	10月22日(木)	中間構想発表会 指導教員 ← 「修士論文主査・副査調査票」の提出依頼(※切:1/8(金)) → 研究科長(大学院係)
11月	上旬		
	中旬		
	下旬		
12月	上旬		
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	1月8日(金)17時まで	大学院生 ← ①事前相談 ②確認・了承 ③「論文」等(注)の提出 ※題目を変更する場合は、「学位論文題目変更届」を併せて提出すること。 → 指導教員 → 「修士論文主査・副査調査票」を提出 → 研究科長(大学院係) 学位審査体制及び審査日程の決定
	中旬		
	下旬		
2月	上旬	2月12日(金)	修士論文成果発表会
	中旬	1月22日(金)~2月19日(金) 【論文審査及び最終試験実施期間】	大学院生 ← 論文審査・最終試験 → 主査・副査 主査・副査 → 研究科長(大学院係) 「修士論文の審査結果の要旨及び最終試験の結果報告」を提出
	下旬		
3月	上旬	3月3日(水)	修了判定
	上旬	3月3日(水)まで	修正済論文の提出期限
	下旬	3月25日(木)	学位記授与式
			研究科HPに修了者の氏名、修士論文の題目及び要旨(2言語)、主査(主任指導教員)氏名を掲載。修士論文(製本版)を総合教育研究施設Aの多文化図書室に配架。

(注)学位論文の提出について

- <提出書類等>
下記の書類を主任指導教員の承認を得て提出すること。
(1) 学位論文審査願 2部
(2) 論文 3部(執筆言語:日本語、英語又は中国語)
※主査(主任指導教員分)1部+副査2部
(3) 論文内容の要旨(論文の執筆言語で作成:日本語2,000字以内、英語1,200語以内又は中国語1,500字以内) 3部
※主査(主任指導教員分)1部+副査2部
(4) 論文内容の要旨(論文の執筆言語以外(日本語、英語又は中国語)で作成:A4で1枚程度 ※(3)を簡略化した要約で可) 3部
※主査(主任指導教員分)1部+副査2部
(5) 学位論文提出票 1部
(6) (2)論文及び(3)(4)論文内容の要旨の電子データ(PDF及びWord等)

※論文の執筆言語及び論文内容の要旨の使用言語については、指導教員に事前に確認をとり、同意を得ること。
※論文及び論文内容の要旨については、大学院係で必要部数を確認後、学生に返却します。学生は自ら主査(主任指導教員)及び副査に各1部を渡すこと。
(学位審査は主査1名と副査2名の3名で行います。主査、副査をどの先生が担当されるのかは主任指導教員に確認すること。)

○論文及び論文内容の要旨は、ワープロまたはパソコン浄書とし、以下の書式とすること。
・A4版で、余白は上下左右ともに3cmとする。
・1ページ文字数は、和文及び中文の場合は40字×30行、欧文の場合は70ストローク(全角35字相当)×25行とする。

○論文については、以下の方法で製本すること。
表紙:提出時の年度(西暦)、研究科名、論文題目名、学生番号、氏名、指導教員名を記載する。
製本方法:並製本(くるみ製本)又はテープ製本により冊子を作成する。

※並製本とは、成果本体を透明シートもしくは厚紙等の製本カバーでくくるみ、成果本体の背と製本カバーを接着する製本法を指す。テープ製本とは、成果本体の背を製本テープで留める製本法を指す。なお、テープ製本の場合は、成果本体左側を少なくとも2箇所、ホチキス止めしておくこと。